

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅲ			科目コード	11051501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>					
到達目標	社会人として必要なマナー(期日厳守)・礼儀(挨拶状)を身に付け活用できる。					
評価項目	期末試験(65%)、出欠席(5%)、提出物(30%)					
評価基準	期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス実務Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ					
授業計画	<p>1. ビジネス文書の基本マナー 7コマ</p> <p>①ビジネス文書:社内文書・社外文書</p> <p>②ビジネス文書:挨拶状の書き方(暑中見舞い・年賀状・年末挨拶状など)</p> <p>2. 慶弔・贈答・会食のマナー 7コマ</p>					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	インターンシップ実習 I			科目コード	11026001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修実習	2年	前期	35	1	有
授業の概要・目的	めざす業界・職種の企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感する。実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようになり、実習後、各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことができることを目的とする。					
到達目標	企業等で、短時間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。 また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。					
評価項目	専門業務の遂行について、ビジネスマナーについて、実習態度について(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	実習先からの評価					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	実習事前・事後指導					
授業計画	企業内実習					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:15時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	情報処理技術者Ⅱ			科目コード	11017501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	85	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果 20%) 本試験結果 75%) 出席率 5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験1 5 弱点補強 6 模擬試験2 7 総まとめ 8 決起会					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	サーバーサイド I			科目コード	11082301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	40	3	無
授業の概要・目的	与えられた課題に対して、学生間でチームを組み、いままで培ったJavaやシステム開発の技術を総動員し、プロジェクト演習を実施する。					
到達目標	チーム開発における、多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SEとして求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に取り組む。					
評価項目	制作物 50%) 期末試験 45%) 出席率5%)					
評価基準	設計に関して、筆記試験を実施する。 また、授業課題として与えられた題材に対する取り組みについても評価する。					
担当教員	赤木 伸			非常勤		
実務経験者による授業	1982年-1987年制御系SEとして、大型プラント作成に従事。1987年-1989年情報提供システム構築にユーザ側SEとして従事。1989年-専門学校システムの構築、運営に従事。					
テキスト・参考文献	「Javaシステム開発 ベーシック」インフォテックサーブ					
関連科目	プログラミング I プログラミング II システム設計					
授業計画	1. ソフトウェア要件定義 2. ソフトウェア方式設計 3. ソフトウェア詳細設計 4. ソフトウェアコード作成及びテスト					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	フロントエンドⅡ			科目コード	11083201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	40	3	無
授業の概要・目的	WEBページのオブジェクトを操作する方法について、演習を通じてWebサイト制作に必要な知識を教示する。 最終的にWebサイトを独力で作成する演習を行い、知識だけでなく技術的な成長を目指す。					
到達目標	JavaScriptの基本的な文法を習得する。JavaScriptを用いて動的なアプリケーションを作成する。					
評価項目	期末試験(75%)、制作物(20%)、出席率(5%)					
評価基準	JavaScriptの基本文法に関して、筆記試験を実施する。また、授業課題として与えられた題材に対する取り組みについても評価する。					
担当教員	若林 潤一			非常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア25年					
テキスト・参考文献	「プロフェッショナルWebプログラミング JavaScript」エムディエヌコーポレーション					
関連科目	フロントエンドⅠ					
授業計画	1 JavaScriptの基本 2 オブジェクト 3 関数 4 条件分岐 5 ループ処理 6 例外処理 7 正規表現 8 クラス 9 DOM 10 イベント 11非同期処理 12 jQuery 13 フォーム制御 14 WebAPI					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	PBL I			科目コード	11085301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	100	4	無
授業の概要・目的	クロスプラットフォームのアプリケーションを開発する。 チームで題材を決めてプロジェクト開発を行う。					
到達目標	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SEとして求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に課題解決にむけて取り組めるようになること。					
評価項目	制作物 70%) プレゼンテーション 25%) 出席率5%)					
評価基準	システム設計やプログラミングで学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	システム設計 開発技術 プログラミング I プログラミング II フロントエンド I フロントエンド II					
授業計画	開発実習					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	クラウドコンピューティング			科目コード	11082701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	近年システム開発において主流になっている、クラウド環境の活用技術、特にAWSについて、用語の理解と活用の手段を理解することを目的とする。					
到達目標	EC2、RDSなどの主要なAWSの機能に関する専門用語と関連知識を習得しクラウド開発における仕組みを理解する。また、演習を通じてクラウド環境を用いたアプリケーション開発の技術を身に着ける。					
評価項目	期末試験60% 演習課題35% 出席率5%					
評価基準	主要なAWSの機能に関する専門用語と関連知識を習得しクラウド開発における仕組みを理解できているか、期末試験により確認し、評価する。授業中の演習課題提出も評価に加える。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaSシステムの開発8年					
テキスト・参考文献	「徹底攻略AWS認定クラウドプラクティショナー教科書第2版[CLF-C02]対応」 インプレス					
関連科目	クラウドインフラ演習 インフラ I ネットワークセキュリティ					
授業計画	1: Amazon Web Servicesとは何か 2: AWSとは 3: 主要サービスについて演習 4: AWSにWebサイトを公開する 5: LAMP環境でWordPress実行 6: データベースを活用 7: 安全な通信					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安: 5時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	Python			科目コード	11084501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	45	3	有
授業の概要・目的	Pythonの基本的な文法及び、JAVAとの考え方の違いを学習し、AIプログラミングに向けた基礎を身につける。					
到達目標	Pythonを用いた基礎的な文法、考え方を身につけることを目的とする。 また、Pythonプログラミング能力認定試験2級の合格を目指す					
評価項目	期末試験75%) 授業中課題20%) 出欠席5%)					
評価基準	Pythonによる基本的な処理と記述方法の理解度を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。					
担当教員	WillBooster株式会社			非常勤		
実務経験者による授業	教育機関や企業向けに、プログラミングや生成AIを効率的に学べる実習サービスや研修などを提供					
テキスト・参考文献	「スッキリわかるPython入門 第2版」 インプレス					
関連科目	プログラミング I プログラミング II					
授業計画	1 環境構築 2 Pythonの基礎文法 3 フロー制御 4 データの集合 5 部品化 6 実践演習 7 総まとめ					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	AI概論			科目コード	11082001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	45	3	無
授業の概要・目的	AIに関わる様々な基本原理や基礎技術について学習する。AIに関する基礎的な知識や、必要なソフトウェアに関する知識の習得を目的とする。					
到達目標	AIに関する基礎的な知識、ツールの利用方法、AI利用アイデアの検討方法について身につける。 また、AI検定の合格を目指す					
評価項目	期末試験(75%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%)					
評価基準	AIに関する基本的な用語を理解しているか確認する筆記試験を実施する。また、授業内で実施する演習課題も評価に加える。					
担当教員	法華 秀幸			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 3年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	統計・データ分析 ビッグデータ処理 イントロダクション					
授業計画	1 AIをめぐる動向 2 機械学習とは 3 モデルの性能評価 4 学習データとテストデータ 5 分類問題 6 線形回帰問題 7 クラスタリング問題 8 演習課題 9 ニューラルネットワーク 10 AI利用アイデアの創出					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	ネットワーク演習Ⅱ			科目コード	11084601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	45	3	無
授業の概要・目的	ネットワーク機器、サーバ実機を用い、構築演習などハンズオン中心の講義を展開する。クラウド、オンプレミス問わずサーバ設定、OS基本設定、セキュリティ設定を行うことができる知識、スキルを身につけることを目的とする。					
到達目標	1年次のネットワーク演習Ⅰで習得した知識をスキルとして確立させる。また、実社会でのインフラ構築、運用の知識と技術を学び、ネットワーク技術者を目指す学生にとっての足掛かりとなる教育を行う。					
評価項目	期末試験60% レポート35% 出欠席5%					
評価基準	NW構築ができる知識がみについているかを問う期末試験、及び実機を用いて何らかの研究を行い、レポート提出を義務づけ評価に加える。					
担当教員	藤井 克俊			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	ネットワーク演習Ⅰ					
授業計画	イントロ:LANケーブルの仕組みと作成 1 デバイスの設置・接続 IPアドレスの設定及び疎通確認 2 ルーティング1 3 DHCP/DNS/HTTPサーバ構築 4 VLAN設定 5 ルーティング2 6 ルーティング3 7 総合演習Ⅰ 8 総合演習Ⅱ					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	セキュリティ演習			科目コード	11083801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	前期	45	3	有
授業の概要・目的	セキュリティ技術について基盤となる知識を学習し、脆弱性診断やペネトレーションテストの手法について理解する。					
到達目標	セキュリティ技術や堅牢化について理解できる。 検証環境を用いてセキュリティ診断ができる。					
評価項目	期末試験(70%)、提出物(25%)、出席率(5%)					
評価基準	セキュリティに関する基本的な用語やセキュリティエンジニアの業務に関する用語を理解しているか確認する筆記試験を実施する。					
担当教員	長瀬 宗二			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年					
テキスト・参考文献	「体系的に学ぶ安全なWebアプリケーションの作り方」SBクリエイティブ					
関連科目	ネットワークセキュリティ					
授業計画	1 インターネット、クラウドサービスとは 2 ネットワークセキュリティ 3 サーバの堅牢化 4 暗号学 5 セキュアコーディング 6 ログ取得の重要性とその手法及び分析 7 堅牢化の実習 8 脆弱性管理とペネトレーション 9 サイバー攻撃の実態 10 フォレンジック 11 診断の実習					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	インターンシップ実習Ⅱ			科目コード	11026101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修実習	2年	後期	70	2	有
授業の概要・目的	めざす業界・職種の企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感する。実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようになり、実習後、各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことができることを目的とする。					
到達目標	企業等で、短時間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。 また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。					
評価項目	専門業務の遂行について、ビジネスマナーについて、実習態度について(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	実習先からの評価					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	インターンシップ実習Ⅰ、実習事前・事後指導					
授業計画	企業内実習					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:12時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	情報処理技術者Ⅲ			科目コード	11018101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	85	4	無
授業の概要・目的	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。					
到達目標	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる					
評価項目	模擬試験結果 20%) 本試験結果 75%) 出席率 5%)					
評価基準	本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー					
授業計画	1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験1 5 弱点補強 6 模擬試験2 7 総まとめ 8 決起会					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅳ			科目コード	11052903	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	40	3	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> <p>就職に必要なマナー、面接対策、コミュニケーション力などの実践力を養い、自分の将来をしっかりと見つめて働くことや職業への理解を深めていく。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 ・明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。 ・自己分析、応募書類の書き方、面接のコツなど、就活テクニック向上につながる知識を得る。 ・第1回就職対策の準備をする。 					
評価項目	期末試験65%、出欠席5%、提出物30%					
評価基準	期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター、「就活支援ブック 就職活動編」株式会社キャリアタス					
関連科目	ビジネス実務Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ					
授業計画	<p>1. キャリア 8コマ</p> <p>①自己PR</p> <p>②履歴書、自己紹介書</p> <p>③面接対策</p> <p>2. 就職対策 26コマ</p> <p>3. 社会人常識マナー検定、SPI</p>					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	サーバーサイドⅡ			科目コード	11083001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	45	3	無
授業の概要・目的	サーブレット及びJSPを用いてWEBシステムを構築できるようになる。					
到達目標	サーブレット及びJSPについての概要を理解し、MVCモデルを利用したWEBアプリケーションの開発手法を身につけることを目的とする。 また、提示された題材に対して、自身でWEBアプリケーションを設計・構築できる技術を身につける。					
評価項目	期末試験(75%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%)					
評価基準	サーブレット及びJSPの基本的な処理と記述方法の理解度を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。					
担当教員	法華 秀幸			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 3年					
テキスト・参考文献	「スッキリわかるサーブレット&JSP入門」株式会社インプレス					
関連科目	プログラミングⅠ プログラミングⅡ サーバーサイドⅠ サーバーサイドⅢ					
授業計画	1 WEBのしくみ 2 サーブレットの基礎 3 JSPの基本 4 フォーム 5 MVCモデルと処理の遷移 6 リクエストスコープ 7 セッションスコープ 8 アプリケーションスコープ 9 アプリケーション作成					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	開発技術			科目コード	11083401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	45	3	無
授業の概要・目的	システム開発におけるドキュメントの作成方法と、チーム開発におけるGitやコンテナの使用方法を学習することで、システム開発に必要な関連技術を習得する。					
到達目標	システム開発に必要なドキュメントを作成することができる。 Gitのコマンドを利用して、ソースコードの管理を行うことができる。コンテナを使って、開発環境を構築することができる。 テスト計画書の作成とテストを実施できる。					
評価項目	期末試験(70%)、制作物(25%)、出席率(5%)					
評価基準	システム開発におけるドキュメントの基礎知識とGitとコンテナの使用法に関して、筆記試験を実施する。また、授業課題として与えられた題材に対する取り組みについても評価する。					
担当教員	長瀬 宗二			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年					
テキスト・参考文献	「いちばんやさしいGit&GitHubの教本 人気講師が教えるバージョン管理&共有入門」株式会社インプレス 「Docker&仮想サーバー完全入門 Webクリエイター&エンジニアの作業がはかどる開発環境構築ガイド」インプレス					
関連科目	システム設計					
授業計画	1 Gitの基本 2 Gitを使う準備 3 バージョン管理 4 GitHubのリポジトリをパソコンに取得する 5 ブランチを用いたファイル更新 6 複数ブランチを同時に使ったファイル作業 7 コンフリクトに対処 8 GitHubを活用した開発 1.Docker とは何か？ 2.Docker のインストールと基本操作 3.イメージとコンテナの仕組み 4.コンテナのライフサイクル管理 5.Dockerfile による独自イメージの作成 6.ボリュームと永続化 7.ネットワークとコンテナ通信 8.Docker Compose の基本 9.実践:Web アプリをコンテナで動かす					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	プレゼンテーション技法			科目コード	11021701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	30	2	無
授業の概要・目的	就職活動や就職後に様々な場面でプレゼンテーションを行う場面がある。プレゼン資料の作成だけでなく、聞き手にとってわかりやすいプレゼンを組み立てる力を、ロールプレイングを通じて身につけることを期待する。					
到達目標	プレゼンテーションと自分自身の関わり、重要性を学生が理解し、就職活動にも役立てられるように、アクティブラーニングを活用し、学生に考える場を多く設ける。					
評価項目	プレゼンテーション 50% 期末試験 45% 出欠席:5%					
評価基準	プレゼンテーションの重要性を理解し、相手に伝えられる力を身につけたか、結論→各論→総論でまとめられるか、実際のプレゼン。期末試験は論述式で行う。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	「いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本」株式会社インプレス					
関連科目	ビジネスプランニング					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.プレゼンテーションとは何か 2.聴き手を意識したプレゼン設計 3.ストーリー構成と論理的展開 4.スライドデザインの基本 5.話し方とボディランゲージのテクニック 6.プレゼンで使うITツールの活用 7.印象に残る導入と締めくくりの工夫 8.実践ワーク①:短時間プレゼンをやってみよう 9.実践ワーク②:グループ発表に挑戦 10.フィードバックと改善 					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	専攻連携開発			科目コード	11084801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	80	4	無
授業の概要・目的	アプリケーション開発において、自身の専攻する領域の技術を活用してプロジェクトに取り組む。チームで題材を決めてプロジェクト開発を行う。					
到達目標	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SEとして求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に課題解決にむけて取り組めるようになること。					
評価項目	制作物 70%) プレゼンテーション 25%) 出席率5%)					
評価基準	システム設計や開発技術で学んだことを実践できているか、チーム内での動き方、最終的な制作物で評価を行う。					
担当教員	岡本 和也			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	システム設計 開発技術 プログラミングⅠ プログラミングⅡ フロントエンドⅠ フロントエンドⅡ					
授業計画	開発実習					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	センサ回路演習			科目コード	11084901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	後期	45	3	無
授業の概要・目的	AIの学習に必要なデータを取得するためのセンサの使い方やデータの取得方法について理解する。					
到達目標	センサから取得したデータをコンピュータにアップロードし、AIを使用して分析を行うことができる。					
評価項目	期末試験75%) 授業中課題20%) 出欠席5%)					
評価基準	センサについての基礎知識、センサの利用方法についてのスキルが備わっているかを問う。					
担当教員	近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	ミドルウェア、IaaSシステムの開発8年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	インフラ I Python IoT					
授業計画	1)電子回路について 2)各種センサについて 3)制御について 4)模擬演習					
事前事後学習						

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	統計・データ分析		科目コード	11085001		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	後期	45	3	有
授業の概要・目的	AIを扱う上で必要となる統計について、その意義や各種分析手法について理解する。					
到達目標	与えられたデータについて正しく理解し、統計・データ分析を行うことで実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する。					
評価項目	期末試験(75%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%)					
評価基準	統計の基本的な用語に付いての理解、各種図表を正しく読み取る能力を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。					
担当教員	株式会社IC		非常勤			
実務経験者による授業	ソフトウェア開発やインフラ設計・構築、システム運用支援を行うITソリューション事業と、チケット販売・管理システムなどの自社ITサービスを展開する独立系SI企業					
テキスト・参考文献	「専門基礎ライブラリ 経済系のための情報活用1」実教出版 「専門基礎ライブラリ 経済系のための情報活用2」実教出版					
関連科目	AI概論 ビッグデータ処理 Python					
授業計画	1)データ分析の全体像について 2)基本統計について 3)データの可視化について 4)仮説検証 5)データの前処理 6)模擬演習					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	インフラセキュリティ I		科目コード	11085101		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	後期	45	3	無
授業の概要・目的	情報通信におけるネットワークの脅威と対策手法を体系的に学ぶ。ファイアウォールやVPN、暗号化通信などの基本技術を理解し、実践的なセキュリティ知識を習得することを目的とする。					
到達目標	代表的なネットワーク脅威とその仕組みを理解し、基本的なセキュリティ対策を設定・運用できる力を養う。演習を通じて機器の操作法やインシデント対応を学び、情報倫理と法的枠組みに基づいた判断力を身につける。					
評価項目	期末試験60% レポート35% 出欠席(5%)					
評価基準	レポートや課題、小テスト、演習の取り組み、期末試験を総合的に評価する。基礎的な知識と技能を身につけ、実践的に活用できるかを重視し、特に積極的な参加態度や理解の深さを高く評価する。					
担当教員	長瀬 宗二			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年					
テキスト・参考文献	「インフラ/ネットワークエンジニアのためのネットワーク技術&設計入門」SBクリエイティブ					
関連科目	セキュリティ演習 インフラセキュリティII					
授業計画	1)ネットワークセキュリティの基本と脅威の全体像 2)サイバー攻撃の種類と攻撃手法の理解 3)ファイアウォールの仕組みと設定実習 4)IDS/IPSによる侵入検知と防御の基本 5)VPNの仕組みと安全な通信の実現方法 6)暗号化通信(SSL/TLS)の基礎と運用 7)認証技術とアクセス制御の実践 8)インシデント対応とログ分析の基本 9)模擬演習					
事前事後学習	予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間)					

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

科目名	クラウドインフラ演習			科目コード	11085201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修演習	2年	後期	45	3	無
授業の概要・目的	AWS上にインフラ環境を構築し、システムが安定的に稼働できる環境づくりの手法について演習を行う。					
到達目標	与えられた課題に対して、適切な技術や設定を選定し、構築ができる技術を身につける。					
評価項目	期末試験(75%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%)					
評価基準	クラウド上にインフラを構築する技術の特徴についての理解度を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。					
担当教員	木戸 善之			常勤		
実務経験者による授業	アプリケーション、ミドルウェア開発9年					
テキスト・参考文献	授業中に適宜資料を配布する					
関連科目	クラウドコンピューティング					
授業計画	1 AWSについて 2 AWSでインフラ構築に利用されるサービス 3 WEBアプリケーションインフラ構築 4 多拠点ネットワーク・インフラ構築 5 セキュア環境インフラ構築 6 問題演習					
事前事後学習						